

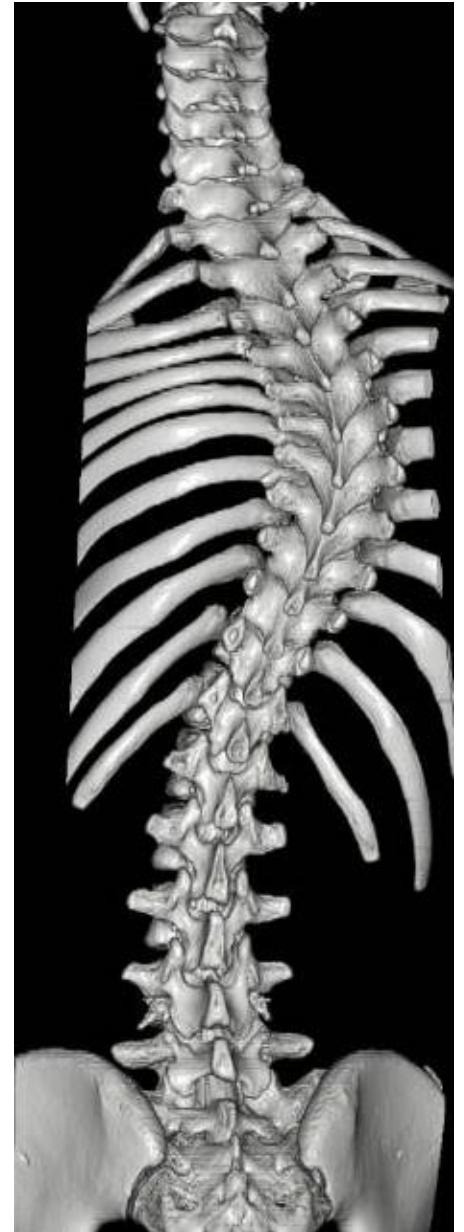
側弯症診の診療対象

- 側弯症
- 後弯症
- 変性側弯症
- 成人脊柱変形
- etc...



側弯とは

- 背骨が曲がった状態をさします。
三次元的な“ねじれ”も生じます。
- 片側の肋骨が背中に出っ張って
“コブ”のように見えたり、左右の
肩の高さのアンバランスが目立っ
たり、ウエストに左右差がでたりし
ます。



側弯症で困ることは

- 変形が進むことが多いこと
- 変形が進行するほど

外見の問題

呼吸機能の低下

おとなになってからの背中・腰・足の痛み

いずれも大きくなっていくことです。

変形の進行は

- 身長伸びに比例しておこります
- 成長期前の年齢、つまり小学生までがもっとも進行します。



治療の原則は

- 25° ~ 30° から装具治療
- 40° ~ 50° から手術治療ですが
- 感受性の高い年代であることを考慮しつつ、受験や部活のことも相談しながら、ご両親と本人が納得のいく治療方針を決めていきます。



ごく軽度の側弯症

- 運動療法をお勧めしています。

ーイギリスのメータ先生が開発したサイドシフト法を当大学で改良したもので、経験豊富な理学療法士の指導で行っています。



25° を超える側弯症

- 装具療法を行っています。
- ストレスの少ない治療法、すなわち下校後から睡眠中、登校直前までの装着を原則としています。



40° -50° を超える側弯症

- 一生、変形が進行する危険のある側弯です。
- 手術療法をお勧めしています。



側弯症手術の前のながれ

手術3～6か月前

- 手術日仮決定
- MRI検査
- 自己血外来受診

手術1～2か月前

- 一泊検査入院
- 自己血外来（2から5回半日）



側弯症手術の入院中のながれ

入院後の予定

- 前日入院
- 0、2日目
鎮痛
- 2、5日目
歩行スタート
- 10日、2週間
退院



より安全な手術を目指して

- 詳細な手術計画
 - MRIやCT検査、3次元モデルの作成
- 自己血輸血
 - 病院輸血部との協力
- 術中回収血輸血
- 術中脊髄モニター
 - 検査部との協力
- コンピューター・ナビゲーション

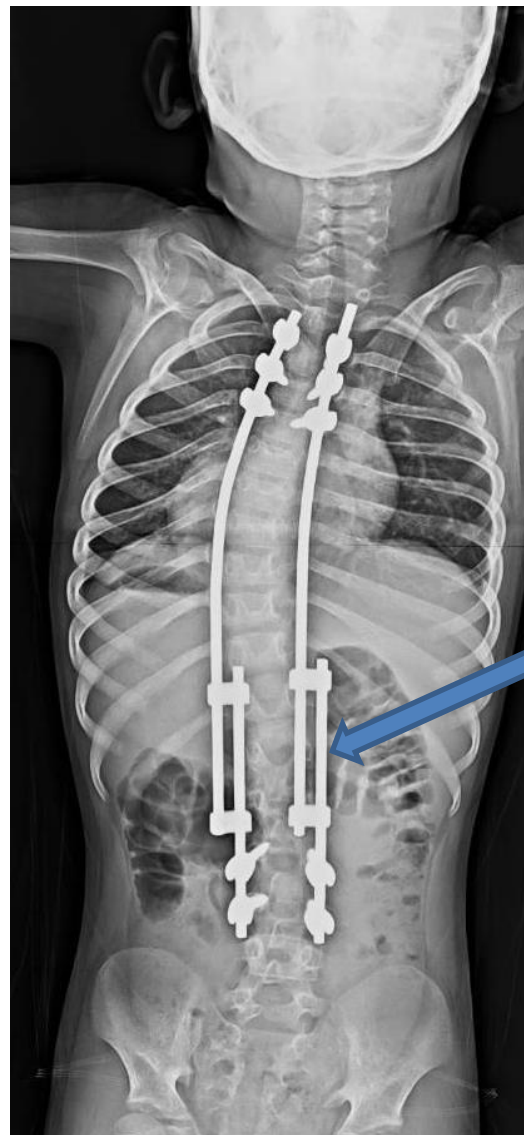
を行っています。



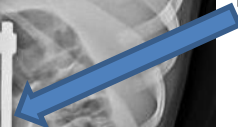
成長余地の大きいお子さんの場合

- グローイングロッドという身長を伸ばせる治療を行えることがあります。
- 6ヶ月ごとの小さいながらも入院手術が必要になります。

グローイングロッドの手術



ここをずらして
延長します



重度障害児の側弯症の治療

- 側弯症は様々な疾患に合併します。
- 入念な全身管理を要する重度心身障害児の治療にも対応しています。
- 手術のメリット・デメリットを十分に相談したうえで適応がある症例には手術も行っています。

〈代表的疾患〉

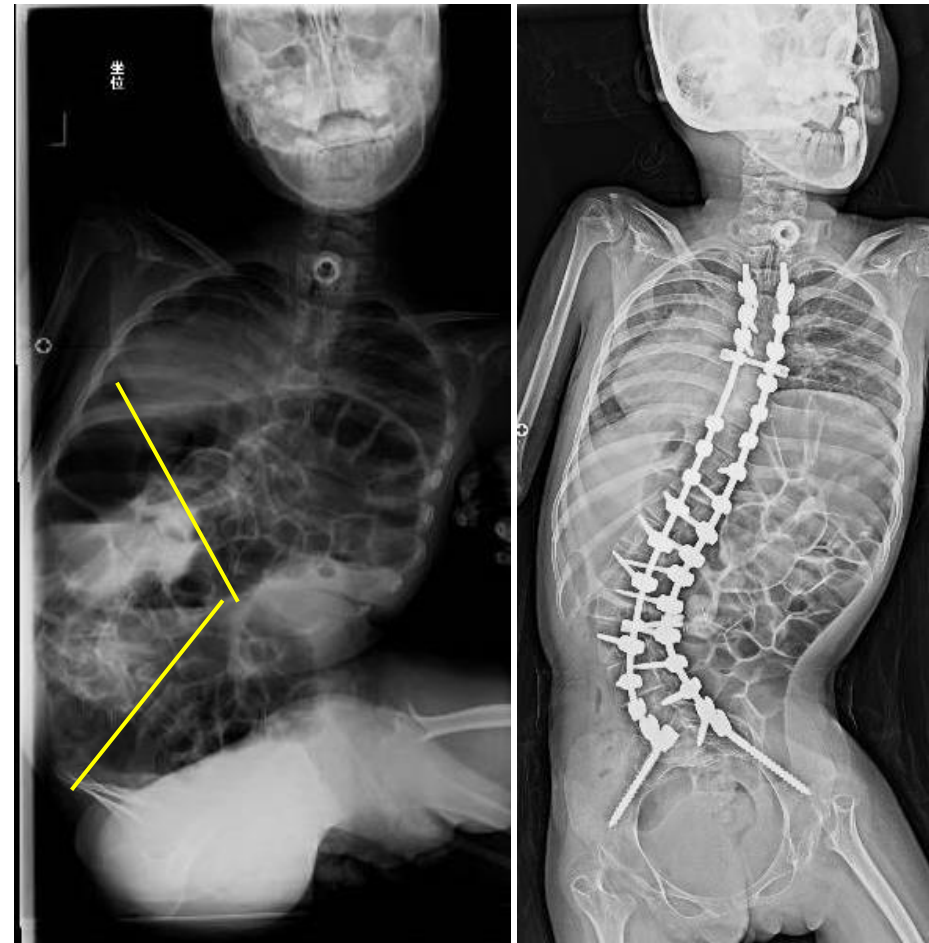
脳性麻痺、脳症後後遺症症例、難治性てんかん 他

重度障害児の側弯症の治療

〈脳性麻痺〉



〈脳症後遺症〉



成人脊柱変形

- 変性側弯症と呼ばれることもあります。
- 成人、とくに中年以降の女性に多く生じます。

- 痛み
- 逆流性食道炎
- 前が見えない

など多くの障害をもたらすことがわかっています。

成人脊柱変形の手術治療

- 変形や症状が強い場合には手術が最も効果が高いことがわかっています。
- 大きな手術なので十分な準備が必要です。

成人脊柱変形の手術治療



〈術前〉



〈術後〉

外来診療

- 毎週木曜日
一装具の作成も木曜日になります
- 詳しくは予約センターでご確認ください
一予約センター
(土、日、祝日を除く)
電話: 03-5800-8630
※予約は受診日の2日前までです。

東大病院の脊柱変形治療

- 外来患者数
 - 2012年 のべ1、100人
- 手術数
 - 2010年 27件
 - 2011年 28件
 - 2012年 40件
 - 2013年 64件
 - 2014年 35件
 - 2015年 45件



文責：谷口優樹